

簡易更新機グレートプレーンを使用した フェストロリウム「東北1号」の不耕起播種実証展示

飼料作物公的育成品種実証展示ほ場として、青森県奨励品種フェストロリウム「東北1号」を簡易更新機グレートプレーンを使用して不耕起で追播しました。

- 播種日 2019/9/20
- 播種面積 1ha
- 播種量 3kg/10a、計30kg
- 播種作業時間 1時間程度
- 協力機関 青森県上北地域県民局

追播前作業として、前植生の掃除刈りと
N:P:K=5.6kg:5.6kg:5.6kg/10a
苦土石灰 100kg/10a の施用 を草地管理者が行いました。



追播前(収穫後不耕起)



グレートプレーンで追播中



追播完了

フェストロリウム「東北1号」の特徴



【参考】

2019/5/22撮影
奥羽牧場採草地A
1番草刈取り時
(利用1年目)
オーチャードグラスと
フェストロリウム混播

- ・ 農研機構東北農業研究センター育成
- ・ 青森県奨励品種
- ・ フェスクとライグラスを交配・選抜
- ・ 排水不良な転作田でも利用可能
- ・ 多年草で維持年数は3年程度
- ・ 高い栄養価と収量性

【参考】

2019/5/28撮影
奥羽牧場採草地B
1番草刈取り時
(利用1年目)
フェストロリウム単播



奥羽牧場では、地下水位が高めの採草地に東北1号を作付けしています。主にラップサイレージに調整して、黒毛和種(育成・繁殖)に給与しています。嗜好性は良好です。

農研機構のHPに、「フェストロリウム東北1号栽培マニュアル改訂版2.0」が公開されています。

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/kind-pamph/08/index.html

フェストロリウム東北1号
(利用1年目)

横浜町石崎牧場 追播前と追播後



2019/5/20
撮影

2019/9/20
追播後



2019/10/23
撮影

追播から
1か月後



実施した草地は、排水不良な転作田のため、既存のオーチャードグラスの裸地化が進んでいましたが、湿害に強い東北1号を播種したことで植生が改善されました。



横浜町石崎牧場 採草1年目と2年目の状況について

2020/5/18
撮影

採草1年目



2021/5/20
撮影

採草2年目



前年の越冬前に草丈が伸びているようであれば、掃除刈りを行うことで冬枯れによる被害を抑えることができ、2年目の1番草も高収量を維持出来ました。

また、適期に刈取りを実施して頂いた草地管理者からは、「嗜好性が良い」との感想がありました。

2021/10/25
撮影

採草2年目 最終番草



適切な施肥と適期の刈取りで、
排水不良な草地でも高品質な粗飼料を
生産することが出来ました。

2年目以降はフェストロリウムが株化して徐々に雑草
(ギシギシ、スイバ、ブタナ)が侵入してきました。維持年限は最大3
年程度のため、雑草が増えたら更新をお勧めします。

なお、3年目に追播することで、維持年限を伸ばすことは可能です。



【参考】

2021/9/27撮影
奥羽牧場採草地A
(利用3年目)

3番草収穫後に
追播し1か月経過